

鈴鹿市ゼロカーボンシティ宣言

私たちのまち鈴鹿は、伊勢湾や鈴鹿山脈等、恵まれた自然環境の中で、自動車産業など多くの企業が立地し、自然と工業が調和して発展してきました。

しかし近年、地球温暖化が原因と考えられる気候変動の影響により、全国各地で大型の台風や集中豪雨などの気象災害が頻発し、今後さらに災害のリスクが高くなると予測されています。

このような中、2020（令和2）年10月に、国は2050年までに脱炭素社会を実現し、温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを目指す「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、2021（令和3）年4月には温室効果ガスの排出量を2030年度に2013年度から46%削減することを目指すこと、更に50%の高みに向け挑戦を続けることを発表しました。

地球温暖化対策については、私たち一人ひとりが脱炭素社会の実現に関心を深め、積極的な再生可能エネルギーの導入や省エネルギー行動等への取組みが大切となります。

本市の中心的な環境施策としては、地域新電力会社である「鈴鹿グリーンエナジー株式会社」を活用し、電力の地産地消を進め、温室効果ガス排出量の削減を図ってまいります。また、今年度策定する「鈴鹿市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」により、市内のカーボンニュートラルの実現に貢献する様々な取組みを、事業者、市民の皆様と一体となり推進してまいります。

本市は、未来を担う次世代の子どもたちに、現在の恵まれた自然環境と工業が調和した鈴鹿を引き継いでいくため、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、全力で取り組むことをここに宣言します。

2022（令和4）年9月30日

鈴鹿市長 末松 則子